

令和2年12月25日

千歳北陽通信

北海道千歳北陽高等学校
発行責任者 校長 渡邊祐美子

第4号(通算24号)
文責 屋敷寿寿

▶ 体育祭を行いました

体育祭を10月8日～9日の2日間、コロナ禍ではありましたが、生徒会が中心となり感染防止対策や応援方法の変更を行い、本校グラウンド・体育館で実施しました。運動会種目として長縄跳びやクラスリレー、混合競技はバドミントン。また、男子はバスケット・サッカー、女子はバレー・ドッチボールを学年別に行いました。結果は次のとおりです。

総合優勝(学年別) 1年4組 2年5組 3年5組

・男女混合競技(優勝クラス)

○クラスリレー

1年2組
2年5組
3年4組

○バドミントン

1年4組
2年5組
3年5組

○長縄跳び

1年1組
2年1組
3年5組



○男子バスケット

1年4組
2年4組
3年3組

○男子サッカー

1年3組
2年2組
3年2組

○女子バレー

1年4組
2年2組
3年2組

○女子ドッチ

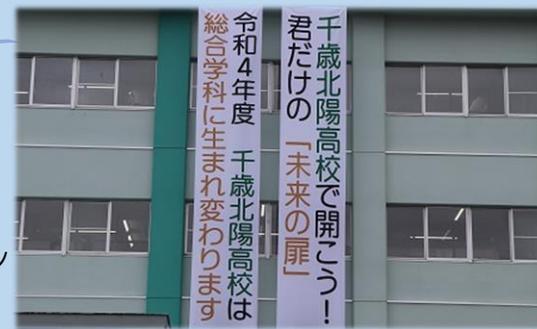
1年4組
2年5組
3年5・6組

12～3月の主な行事

- 12月25日(金) 冬季休業前LHR・成績表発送
- 29日(火)～1月4日(月) 学校閉庁日
- 1月12日(火) 授業開始・身だしなみ検査
- 13日(水) 基礎力診断テスト
- 27日(水)～29日(金) 3年生後期期末考査
- 2月 1日(月)～25日(金) 3年生家庭学習
- 18日(金)～22日(月) 1・2年生後期期末考査
- 3月 1日(月) 卒業証書授与式
- 3日(水)～5日(金) 高校入試のため家庭学習
- 6日(土)～9日(火) 2学年見学旅行(広島・大阪・京都方面)
- 24日(水) 終業式・離任式
- 25日(木)～4月7日(水) 年度末・年度始休業

▶ 令和4年度より「総合学科」へ学科転換

令和2年12月2日(水)の開校記念日に「令和4年度総合学科」へ向けての垂れ幕を設置しました。総合学科では2年次より「文理探究・産業経済・地域創造・課題研究」の4つのクラウドから自分の進路にあわせた科目選択ができるようになります。また、本校卒業生(24期)のファッションデザイナー伊藤羽衣さんのデザインによる新しい制服も計画されています。



▶ 北海道ハイテクノロジー専門学校と高専連携協定を締結



令和2年12月7日(月)本校生徒の進路意識や学習意欲を高め、キャリア教育を活性化すること目的に、北海道ハイテクノロジー専門学校と協定書の調印を行いました。これにより、専門学校の授業への特別聴講の受け入れや高校への出張授業等、教育交流が促進されます。今後、本校生徒の職業への理解が深まり、進路に関する視野が広がることを期待できます。

左 北海道ハイテクノロジー専門学校 佐藤 俊 校長

▶ 折り紙をアリス認定こども園にプレゼント

2年生の人文探究フィールド科目「福祉と手話Ⅰ」の授業で作った折り紙を、アリス認定こども園にプレゼントしました。千歳市社会福祉協議会と連携し、地域の折り紙サロンの方々が作った折り紙のコマと、生徒が作ったキャラクターの折り紙と一緒に贈りました。



令和2年度 3年生進路状況(令和2年12月10日現在)

コロナ禍の状況で民間就職の求人は減っている状況ではではありませんが、生徒一人ひとり進路実現に向けて毎日頑張っています！

○進学(合格率89.9%)

大学11名 短大1名 専門学校68名 進学未決定9名

○就職(内定率70.9%)

民間就職26名 公務員27名 縁故4名 その他4名 就職未決定25名

2年生「職業講話・キャンパス体験」を実施しました

新型コロナウイルスの影響で、9月中旬から10月初旬にかけて、例年行っているインターシップに変えて「職業講話・キャンパス体験」を実施しました。

☆2年3組 富島彩香さん(恵庭中出身)

私は将来の進路についてまだ決まっていませんが、いずれ就職しなければならいので2回に分けて実施された職業講話は、非常に有意義なものでした。

職業講話で学んだことは三つあります。一つ目は人とのコミュニケーションです。コミュニケーションは、上司やお客様、様々な人と意思疎通において大切なものなので、お客様に気持ちよく満足していただくためにも、相手のことを知ることができる会話術はとても素晴らしいものです。二つ目は安全性です。食品は、人の口に入る物なので、異物が入ると大変なことになります。そのために安全に食べられる物を作らなくてはならないので、安全性がとても大切なのだと思いました。三つ目は、一人ひとりが未来のことをイメージし、理想に向かって歩いて行くことです。それを叶えるために色々と頑張ることで生活が豊かになり、社員も自分の仕事を誇れ、皆の幸せに繋がっていくのだと思いました。

将来の道は、まだ決まっていませんが、今回学んだことを活かし、慎重に考え、後悔しない進路を決めていこうと思います。

☆2年5組 西之川尋翔くん(勇舞中出身)

10月7日に恵庭の北海道ハイテクノロジー専門学校でキャンパス体験が開かれました。私は将来パソコンの職に就くことを考えているのですが、今回は宇宙ロボットのことを考えているので勉強してきました。

私は話を聞き強く印象に残った言葉があります。その言葉は「普通の人の発想ではなく、普通ではない発想が以外と役に立っている」というもので驚きました。私の中では

普通の発想ではないのにそれが人の役に立つ仕事があるということは本当に素晴らしい仕事だと思いました。話が終わった後に紙ロケットを打ち上げましたが、本物のロケットを打ち上げるにはこういったことを何回も行い試行錯誤して上げることを学びました。

私の進路はまだ決定していませんが、今回の経験を活かし、今後の学校生活をより良いものにしていきたいと思っています。



1年生 保健講話を行いました(10月17日)

函館市の湯の川女性クリニック院長 木葉松洋子 医師より正しい性の知識・生命の大切さや、思いやりのある人間関係について講話をして頂きました。

☆1年3組 村井春月愛さん(柏陽中出身)

「性について」と聞くと、どうしても恥ずかしいものというイメージが付いて離れない。中学の保健の授業では教えてもらえなかった、性別における性の違いやその本質など多くのことを学んだ。また、私たちはネットや友人から得たあやふやな知識は持っているが、それが本当の正しいのか、改めて確認する事ができ、とても貴重な講話だった。例えば、避妊ついて、避妊具を付けていても百パーセント避妊できる訳ではないということがとても驚きだった。仮に行為中破けてしまって、私たち高校生が妊娠してしまったとしても、男性側も女性側も責任を取ることはできない。実際に子供ができてしまい、中絶をした高校生は沢山いる。軽い気持ちで行為に及んではいけないと、今回の講話で、緊急時用のピルがある事を知った私たちは、それを頭のすみに入れておく必要があると思う。

また、行いをしない事で、性病感染のリスクも低下することが解った。現在新型コロナウイルスが広まっているが、秋田県では梅毒の患者が増加傾向にあるようだ。自分と相手が気をつけていても、恋人の元恋人はなど、見えない所から病気がやってくる可能性もある。「私には関係ない」ではすまされない話だと思った。

しかし、行いをしなければ私たち自身の存在も今ここにはない。お互いを尊重し合い、経済的な自立をし、命に責任を持つようになるまで、性についてもっと深く学び、人として間違いのない人生を送りたい。



活動結果

レスリング部 10月8日~10日 新潟市

2020風間杯全国選抜高等学校レスリング大会

今年初めての大会が全国大会でしたが、日ごろの練習の成果を十分に発揮することができました。応援ありがとうございました！



- 55kg級 中村駿介選手(3-4)
2回戦 対 敦賀気比高校 テクニカル負け
- 65kg級 川上朔依選手(2-1)
2回戦 対 霞ヶ浦高校 テクニカル負け
- 80kg級 宮崎李陵選手(2-1)
2回戦 対 花咲徳栄高校 フォール負け

※不測の事故が発生したり、新型コロナウイルス感染症に罹患した場合は、学校(担任)に連絡してください。

お問い合わせ 千歳市北陽2丁目10番53号 電話0123-24-2818
ホームページアドレス <http://www.chitosehokuyou.hokkaido-c.ed.jp/>

(学校閉庁日の緊急連絡: 713517-kinkyu@ml.hokkaido-c.ed.jp)